

男女共同参画推進情報誌

Mi★Rai

みらい

男女が共に生き生きと暮らせる社会づくりを目指して

第2号



太田郷公民館にて

あなたは料理が好きですか？へ献立を考え、食材を用意し、切り揃え調理し、盛り付けて、片付ける。その間、脳は活発に働いています。実際、料理をすることで脳が活性化するという研究データも公表されています。

昨年末に、八代市生涯学習課公民館主催事業の一環として行われた「年越しそばを打とう」の講座には、多くの男性も参加されました。「そば打ちに興味があって」「料理が好きで」「ひまだったので」ときっかけはそれぞれです。打ったそばを食べながら、「難しかったけれど、奥が深く、また挑戦したい」などとても楽しそうでした。

楽しみながら脳を活性化させてくれる料理の効能を、心豊かな生活を送るために役立ててみませんか？

知ってるつもり!?!の

男 女 共 同 参 画

男女共同参画社会基本法ができて早6年。
聞いたことがあるけど、どんなことかわからなかったり、勘違いしていたり…
みなさんはどのくらい理解していますか。



猪口邦子さんって
何大臣?

☆ドレスが印象的だったけど
どんなポストに就いたの?
◆内閣府特命担当大臣になっ
たんですよ。
☆それって何なの?
◆猪口さんの場合は少子化と
男女共同参画を担当します。

☆少子化はきくけど…
◆男女共同参画社会づくりは
二十一世紀における最重要
課題に位置づけられている
んですよ。
☆どうして?
◆日本が世界に例のないスピ
ードで少子高齢社会になっ
たことや(家族の形態)経済
情勢等これまで経験したこ
とのない速さで社会変化し
たことに対応するためです
よ。

女性が十分活躍できない国
は国際競争に初めから負け
ているのと同じなんですよ。
☆リストラとか厳しい時代だ
から女性も頑張らなくっちゃ。
将来的には人口が減って労
働力も減っていくって言っ
しねえ。
◆だからこそ男性も女性も働
きやすい環境整備が急がれ
るんですよ。

いつから伝統か?

☆「男は仕事、女は家庭」っ
て言うのは日本の伝統なん
でしょ?

◆意外なことにこの考えが一
般化したのは戦後なんです。
☆えーっ。ずっと昔からって
思っていたけれど、違った
の?

◆高度経済成長期、多くの男
性が終身雇用型の労働者に
なって突然解雇される心配
が少なくなった後なんです
ね。この頃「専業主婦」も
誕生しました。
役割を分担しておいた方
が当時は経済効率がよかつ
たんですよ。

☆そうか!「男は仕事、女は

男女共同参画って何?

☆でも、そもそも男女共同参
画っていったい何なの?
◆それはですね。男性と女性
がお互いに人として認め合っ
て責任も分担し、それぞれ
の個性とか能力が発揮でき
るように一緒に考え協力し
合っていくことですよ。

☆それって家庭でもいえるこ
とよね。実は隣の奥さんも
いつもぼやいているの。ご
両親と同居なんだけど、嫁
は何でもやって当たり前っ
て感じて、夫も協力してく
れないんだって。
◆そんな話をよく聞きますね。
でも、これからは、男女が
仕事と家事、育児、介護等
をバランスよく担えるよう
にしていくことが重要にな
ります。家庭の中の慣行を
見直すことが求められる場
合もあると思いますよ。

女性が外で働くから
少子化になった?

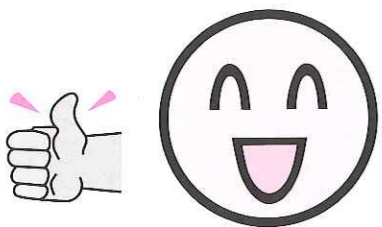
☆働く女性が増えたから生ま
れてくる子どもの数が減っ
てくるってことね。

家庭」でよかった時代もあっ
たけれど、今の社会にはだ
んだん合わなくなってきた
いるってことね。

男女平等なら、
更衣室は…?

☆平等なら男女差はないんだ
から、更衣室も分ける必要
ないって主張する人もいら
んだって?

◆この前新聞でも取り上げら
れていましたね。でも、男
女共同参画社会は、基本的
に性差の違いを念頭におい
て、機会の平等、権利の平
等をすすめているわけです。
だから、更衣室もトイレ
もすべて一緒でいいという
のは、間違った解釈ですよ。
☆よかった、安心したわ。



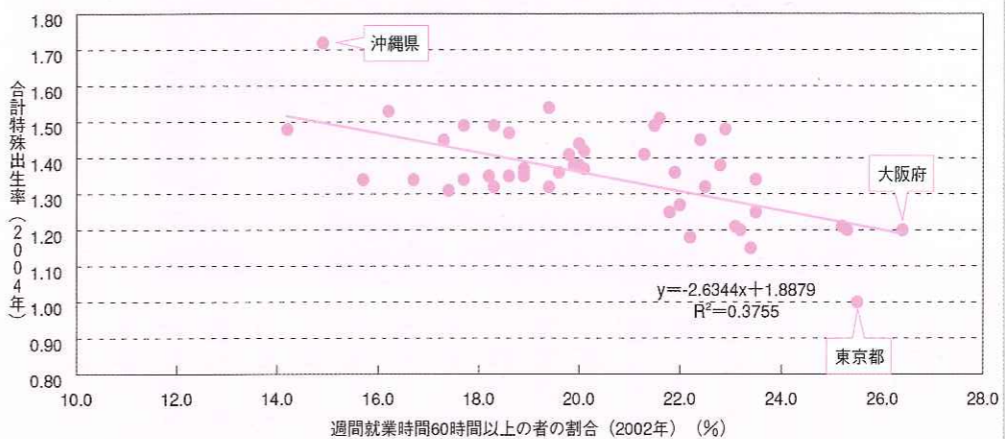
たとか、結婚しても仕事を
続けるから子どもを産まな
いとかなんな話よく聞け
ど…

◆そうですね。でも、日本で
は専業主婦も、働いている
女性も、出生率はあまり変
わらないですよ。また、男

性の長時間労働者の割合が
高い地域は、出生率が低い
傾向が見られます。

☆えー、初めて知った。
◆今の少子高齢化・国際化の
進んだ社会では女性が働き
やすい社会環境を提供する
ことが重要なのです。逆に

図表2-3-18 25～39歳男性就労者の週間就労時間60時間以上の者の割合と合計特殊出生率



(注) 厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」と総務省統計局「就業構造基本調査」を用いて厚生労働省政策統括官付政策評価室が作成

※出典 平成17年版厚生労働白書
(地域とともに支えるこれからの社会保障)

記事の訂正とお詫び

旧市及び新市が発行した本誌に、本人の発言と異なる部分がありました。
そこで、下記のとおり訂正させていただきます。関係者の皆様及び市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

- 一、発行日
旧市 平成16年9月1日発行
第8号(第2面)
新市 平成17年9月1日発行
創刊号(第4面)

二、対象箇所
「男女共同参画お国事情」
濱本ベルナデットさんの記事

三、訂正の内容

(掲載内容)
日本に来て最初に驚いたのが、
「家庭ではお父さんはデー
ンとして何もしないし、子ども
も手伝わない。お母さんばか
りが忙しすぎる」ということ。

(訂正後)
日本に来て最初に驚いたのが、
「お母さんばかりが忙しすぎ
る」ということ。

四、経緯

この記事は、旧八代市に在
住の海外出身者五人にインタ
ビューして作成した。
濱本さんのインタビューで
は、母国においての家族の絆
の強さや、家事なども家族み
んなで協力し助け合っていた
こと。来日間もない頃、日本
の家庭で、家事などを子ども
は手伝わないし仕事から帰っ
たお父さんもただ座っている
感じでお母さんばかりが忙し
いと聞き、大変驚いたことな
ど話された。

また、結婚後は、義母から
家事等を教わるうち、家族の
絆が強まり、とても良い生活
を得たと思っていること。
記事編集にあたり、発言に
なかった「お父さんはデー
ンとして…」を「で困り、本
人の発言であるかのような印
象を持たせた。さらに、新市
創刊号では、家族の絆に関す
る記述を省いたため、本人の
意図と全く異なる内容になっ
てしまった。

「ご協力いただきました濱本
さん及びご家族の皆様に対し、
深くお詫び申し上げます。
(人権啓発課)

いっそDEフェスタ2006

～ 新生八代! 認め合える ス・テ・キ な関係 女ひと男ひと～

1月29日(日)鏡文化センターにおいて開催した「いっそDEフェスタ」は、老若男女問わず「みんな一緒に男女共同参画社会をめざしましょう」という想いの込められたフェスタです。企画・運営は、実行委員、ボランティアスタッフ等と、新市域全体の協力を得て行いました。その内容の一部をご紹介します。

- ・男女共同参画の問題を女性の地位向上とだけ捉える人も多いかもしれないが、女性によい社会は男性にもよい社会と考えて欲しい。
- ・小学校低学年からの意識づくりが大切。
- ・自分にできることを見つけてみてはどうか。
- ・女性の管理職登用が少ない。

パネリストは、旧市町村から各一名ずつ六名の男女を、コーディネーターは熊本大学の古賀教授をお招きし、「これまででの取り組み」や「新市のまちづくりへの想い」等について座談会を行いました。



第一部 公開座談会
熱く語ろう!
新市のまちづくりは男女共同参画で

また、思い切った支援策で子育てで日本一のまちをめざそう。
 ・これまでの当たり前前を見直し、変えていこう。
 ・人と人のよりよい人間関係を構築することが必要。

第二部 記念講演

「共働き」ではなく「共育て」

国際ジャーナリストで、テレビ・ラジオでご活躍中の蟹瀬誠一さんの記念講演では、「少子・高齢社会にあっては、子どもを生まない女性や働かない女性はダメだ」という間違ったレッテルを貼られる可能性がある。人それぞれにライフスタイルがあるので、個人を大切に見ていきたいと思っている。

最後に、コーディネーターが「八代地域での男女共同参画をすすめるには『子育てと仕事の両立支援』『学校での取組みの充実』『基本的な推進体制づくり』の三つの課題がみえてきたように思う。」さらに、「きちんとした行動計画を策定して、もう一度内閣府と共催で宣言都市になって欲しい。」とまとめられました。

職業柄、言葉を大切にしている。「共働き」は、働くことを中心にする言葉で、「共育て」は、子育てを主役としている。人は使う言葉で、意識も行動も変わるものなので、男性は育児を期間限



編集後記

私は戦争を知らないのですが、当時は男性が少ないこともあって、残された家族は助け合い、女性がガムシヤラに働いて、家族に食べさせていたと聞いています。
 あれから六〇年。
 多様な価値観のもと、男も、女も働くことが一般的になった今、求められる社会像に向かって、私たちは何をしたらいいのでしょうか。
 せっかく、国が特命担当大臣をおいて、国家の最重要課題と位置づけて取組んでいるのですから、私たちも、自分にできるところで、男女が責任を分かち合い、それぞれ個性と能力を発揮できる社会をつくるために、働きかけてみてはどうでしょうか。
 お互いを尊重しながら。

【編集スタッフ】

- 可徳陽子 亀田宏子
- 木村幸枝 古閑啓子
- 穂波敬子 前川祥子
- 増田真弓